

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年11月26日

計画の名称	十和田市の下水道における防災・安全対策の実現												
計画の期間	令和08年度～令和12年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	十和田市												
計画の目標	大規模地震において下水道が有すべき機能の必要性や緊急性から、緊急的に耐震性の向上を図るべき施設について耐震化を実施するとともに、適切な改築更新を行うことで下水道としての基本的機能の確保を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,715	A	3,715	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R8当初	R10末	R12末
1	処理場における改築更新工事の達成率を0%(R08)から91%(R12)にする。			
	処理場における改築更新工事の達成率	0%	41%	91%
	改築更新済みの施設及び設備(箇所)/改築を行うべき施設及び設備(箇所)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R08	R09	R10	R11	R12			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	終末処 理場	改築	十和田下水処理場	流入ゲート、ガスホルダー、 脱水設備、汚泥棟耐震、濃縮 棟設備、3系水処理設備	十和田市						3,493		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-002	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	ポンプ 場	改築	マンホールポンプ場	機械・電気設備 N=6箇所	十和田市						90		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-003	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	ポンプ 場	改築	北部中継ポンプ場	電気設備	十和田市						47		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-004	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	-	-	調査・設計等	ストックマネジメント計画、 汚泥棟再構築	十和田市						85		-
		種別2：全種、ストックマネジメント																	
											小計						3,715		
											合計						3,715		

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 十和田市の下水道における防災・安全対策の実現

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 下水道事業計画に基づく処理施設整備は概成しており、今後は効率的な管理・運営を図ることとしているものであり上位計画との整合性はとれている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	
I. 目標の妥当性 効率的な管理・運営と地域住民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした処理場におけるストックマネジメント計画の目標をたてている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 ストックマネジメント計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 定量的指標は処理場におけるストックマネジメント対策状況を的確に捉えており、効率的な管理・運営に適した指標である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 事業内容は効率的な下水道施設の管理・運営に関わる事業としており、計画の目標と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 基幹事業のストックマネジメント対策等により、施設の安全な管理・運営を図ることができる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（用地取得の見通し、関連法手続きの見通し等）	
III. 計画の実現可能性 地域毎に住民説明を行い、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（当該事業に係る要望等）	

事前評価

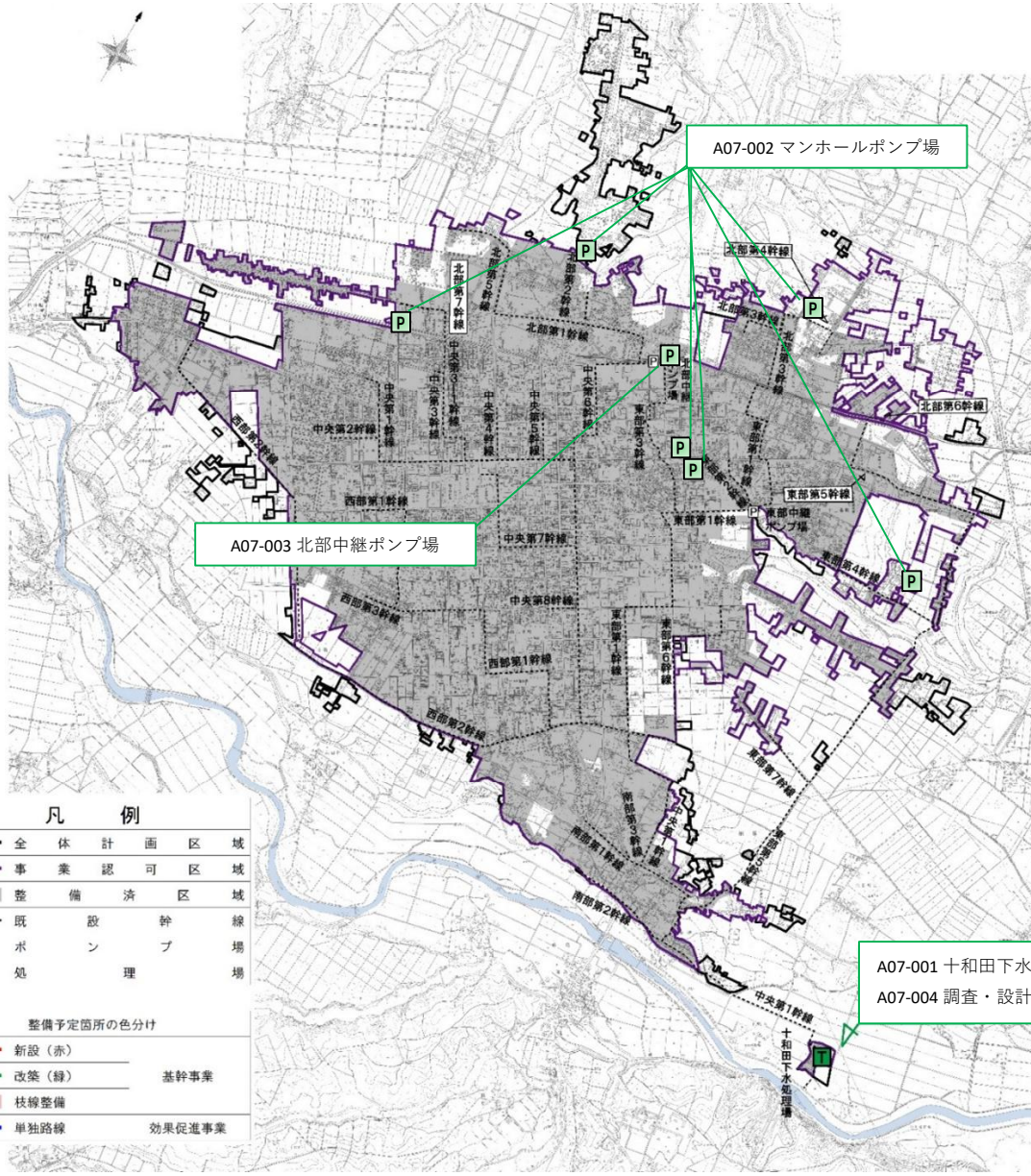
チェック欄

III. 計画の実現可能性

他事業である集落排水事業、合併浄化槽事業と連携し、市全体の汚水処理施設整備の促進を図り、早期の汚水処理人口普及率の向上を目指すこととしている。

○

計画の名称	十和田市の下水道における防災・安全対策の実現		
計画の期間	令和08年度 ～ 令和12年度 (5年間)	交付対象	十和田市



凡 例		
	全体計画区域	
	事業認可区域	
	整備済区域	
	既設幹線	
	ポンプ場	
	処理場	
整備予定箇所の色分け		
	新設(赤)	基幹事業
	改築(緑)	
	枝線整備	効果促進事業
	単独路線	

A07-001 十和田下水道処理場  
A07-004 調査・設計等